

萩、笠山、椿群生林

椿原生林ウォーク

エコウォーク環境貢献推進機構認定（エコウォーク百選2007において全国で最初に選ばれた）



行き方

椿まつりの期間（2008年2月16～20日）は越ヶ浜バス停より無料のシャトルバスが出ています現地にも駐車場がありますが土日は込むことが予想されます。

バス バスセンターより越ヶ浜行きで終点の越ヶ浜まで15分。有料で運行

自家用車ご利用

ホテルより前の191号線を、益田方面に車を走らせ、しばらくすると左手に道の駅しーまーとが、現れそのまま行くと大きく右に曲がるカーブに差し掛かります。左に日本海が見えてきて萩小町の旅館を過ぎたらすぐに信号が現れ左に曲がる案内が出てきますので191号線と分かれて左へと入っていきます。（ホテルより10分から15分）

越ヶ浜（この漁村の地名は萩城から見て北にある浜なので越ヶ浜（越は北の意味）波が越す浜で越ヶ浜となったなどいろいろな説あります。昔は水がなく遠くまで女性が水を運んでいました。）に入り明神池の脇を通り上り坂に入り保育園の前を右に行くと奥に駐車場（無料）があり海沿いの遊歩道を1.9キロ歩いて椿群生林に行くエコウォークコース（15～20分のおよく整備されたゆるいアップダウンの道、磯の香りと波音を聞きながら歩ける遊歩道）。

保育園より左に行くと正規のコースです、車で椿の群生林まで行けるコース。しばらく上ると左に下りる道が出てくるのでここを下り突き当りを右に折れそのまま突き当たりまで進む。最初に見えてくる右に上がる駐車場（無料）に行くと資料展示の休憩所があります。ここに詳しい案内の資料があります。



エコウォークはここを右へ



右手にも駐車場があるが突き当たりまで行くと停めるところがある

椿群生林の成立

約25000本、5000株のヤブツバキが自生。1604年の毛利家入城で萩城から見て笠山が、北東の

鬼門に当たるために樹木の伐採や鳥獣の捕獲を禁じたことにより原生林の様相になり大木に覆われた。(ちなみに鬼門の関係で殿様が、災難が去ると言うので笠山に猿を放ちこれを保護し、1000匹前後いたが、明治以降は餌を与えられなくなり、1920年にはいなくなりました。現在田床山にサルをよく見かけますがその子孫なのかもしれません。また城の山の頂上の石垣の笠山方面にあたる部分だけ角を削り取られている)明治になり禁が解かれ用材やまきにするために刈り取られました。伐採によりうっそうとした森に陽光が当たりそれまで発芽できなかった種子も発芽し、また、切り取られた株からも芽が出てを、繰り返し生命力の強いつばき残り、昭和45年につばきの研究家が、稀に見るつばき原生林であると、萩市に申し出て保護され現在に至る。



笠山の成立ち

1万1千年前の噴火により溶岩台地が形成され8800年前の噴火で山頂が形成。もともとは島だったが砂州により陸地と繋がった。鎌倉時代に女性がかぶる笠に似ていたところから笠山と呼ぶようになった。

山頂付近は茅場としてカヤを育てて和船の上部に使う苫(とま)に使用していた。

1933年に越ヶ浜の畑から水成岩製の石斧、円形土器が出土した、これにより有史以前に古代人が笠山で生活していた事が判明したが水は出ないし、耕作に適した土地でないので多くはいなかった。

笠山登山(112m)

つばき原生林の公園奥に登山道がありおよそ15~20分で山頂に至る。

お勧め時間帯

椿の原生林は高い木に覆われているので暗いところと、上からの光が下りてきて落ちた花とのコントラストが絶妙です。お客様に教えていただきましたが、朝食前の6時にお出かけになり人が踏み荒らしていない夜のうちに落ちた花いっぱいの写真を見せていただきましたが良い写真でした。土日は特にこの時間に行かれるのは大正解です。原生林は人がいないときのほうが真価を発揮してくれる雰囲気のある場所です、是非早めの時間にお越し下さい。

お食事処

つばきの館

うどん定食



うどんはすこし柔らかですが、出汁は美味しかったです。おむすびはこの辺りの名産のわかめむすびでした。その他サザエ飯も名産です。味は確認していません。

明神池のそばのいそ萬

お魚料理